



仙台市農業園芸センター
大温室グリーンギャラリー



「昆虫展」

～カブトムシとクワガタムシ特集～

開催期間：平成22年7月17日(土)～8月29日(日)

※毎週月曜日は休館日です。

入館料：大人400円・小中学生200円

今年で5年目を迎えた大温室グリーンギャラリー夏休み特集の「昆虫展」。熱帯雨林の中で生息しているカブトムシやクワガタムシの18種類を展示します。また、国産カブトムシとクワガタムシも合わせてご紹介します。

(全体で22品種220匹)

朝9時～10時は昆虫に餌をあげる時間です。この間にご来館頂くと外国昆虫に触ることができます。是非早起きをして昆虫たちに会いに来て下さい。通常は国産のカブトムシとクワガタムシのふれあいコーナーがあります。



豆 知 識



クワガタムシとは・・・

(甲虫目、鞘翅目)クワガタムシ科・世界で1200種ほどいるといわれている。東南アジア分布の中心があり、熱帯アフリカがこれに準じ、オセアニアやインド方面にも多い。ヨーロッパ・北米には種類が少なく、南米には大型種が見当たらない。日本では37種類いるといわれている。クワガタムシは、卵→幼虫→蛹→成虫という一生をおくる完全変態の昆虫である。

カブトムシとは・・・

(甲虫、兜虫)とは、コウチュウ目(鞘翅目)・コガネムシ科・カブトムシ亜科・真性カブトムシ族に分類される昆虫の種の標準和名。世界中に分布を広げて約1000種いるが、特に多く見られるのは南アメリカ北部、東南アジアである。アフリカは意外と少ない。温帯には大型種はあまり見られず北アメリカに生息するグラントシロカブト、日本のカブトムシなどである。

日本で外国産のカブトムシが飼育され始めるようになったのは、1999年が初解禁である。最大はヘラクレスオオカブト 180mm、次いで同属のネプチューンオオカブト、3位にコウカサスオオカブトとなる。最重はゾウカブト類。